

# ちいきのなかま通信

No.88

発行日：2021年6月15日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

## 寄付に感謝

2020年度¥985,000の寄付を寄せていただきました。

みなさまに心から感謝申し上げます。



## 寄付は全額産前産後ケア・家事サポートに活用いたします！

現在、多くの子育て家庭で、産前産後に親族等からの支援を受けられない、または受けることを選択しない傾向があります。

ちいきのなかまでは、これまで数年をかけて子育て中の皆さんに、聞き取り調査などを実施してきました。そして多くの女性たちが産前産後ケア・家事サポートが必要であると感じていることがわかりました。その結果を受けて、産前産後ケアそして生活を支援する「家事サポート」が必要であることを発信し続けていますが、その声は日本社会では片隅のつぶやきにすぎませんでした。それでも細々と支援を始めておりました。

しかし、事態はコロナ感染拡大で変わりました。

2020年10月より「育児等支援サービス事業（コロナ禍、実家が県外で出産のために里帰りができない、実家の手助けを受けられない方向け家事サポート利用が無料になる事業、ただし24回/1人の利用まで等の利用制限あり）」が始まりました。この委託により当法人は多くのご家族を支援させていただきました。これまで蓄積した学習の成果を活用し、子育て支援現場のキャリアを積んだ仲間の皆さんが、家事サポートにも協力してくださいました。利用者の皆さんから届く感謝の言葉は、私たちが歩む実践の確かさの裏付けとなりました。県外出身者のみ対応の支援の一方でこの街に生まれ育ち、親になって子育てにとりくむ方々を応援できないことは憂うべきことです。出産前後の困難さを抱えるという意味で同じ状態のご家族でも、補助の対象外の方が支援を希望されても費用負担に二の足を踏まれることが続きました。誕生する子どもにとって親の実家の遠近による支援の有無は公平ではありません。今年度、いただいた寄付の用途を、私たちは迷わず補助対象外の方で家事サポートが必要な方に適用することを決定しました。寄付適用の方には ¥1000/1時間で支援を利用させていただくこととし、4月以後、すでに5家族の方が利用されています。

## 現在も寄付・会費は継続して受け付けています！

NPOでは会費や寄付は「組織」が必要と判断した課題解決に直接支出できる貴重な財源です。私たちは皆さんからの寄付を活かすだけでなく、私たちが行う課題解決には多くの支持者がいることもまた伝え続けます。みんなが必要だと思える支援はぜひ公的なサービスに位置付けてほしいと願うから…これからも応援よろしく願いいたします。

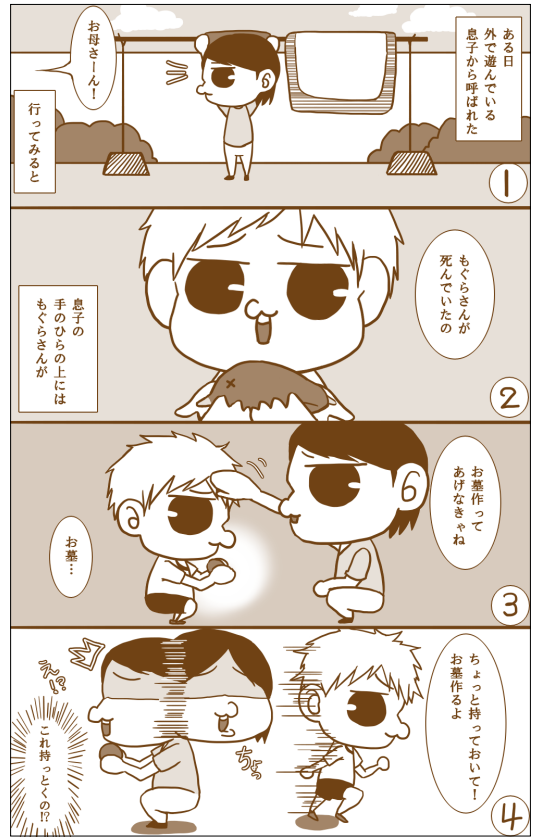


# いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ〜んなかんじ」

ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

## 子どもの世界って こ〜んなかんじ

by 蓮すけ



まだ僅かな言語表現しかできないと思っていた子どもが、実は豊かな内なる言葉を持っていて驚くことがあります。イラストの子どもさんは3歳、いつの間にか「死」について、その子なりに理解し、暮らしの中で学んだ「供養」を行なうことができました。

ある日の預かりのこと。今日はママは外出、Aちゃんはお留守番、「行ってきます、いい子にしていますね」とママ。ママを見送り、ひとしきり泣いた後、Aちゃんは小さな声で「いってらっしゃい」とつぶやく。ママを見送るその時には言えなかったけど、伝えたかった「いってらっしゃい」。次回ママを見送るその時にいえるといいなと思います。

今できないことも、明日できるかもしれない、そして、きっと「できる」ようになる。子どもは育てるのではなく「育つ人」たちです。大人が望んでも一足飛びに成長することはありません。子どもの「できない」は「だめなこと」ことではありません。大事なものは「できない」間も連続している子どもの内なる育ちを信頼し、見守り「待つ」ことだと思います。

多くの子どもさんは2歳後半ぐらいになると短期的な見通しを持てるようになり「待つ」ことができるようになります。また、目の前にないものを想像し、自分なりに抽象的な概念を育み始めるのもこの時期です。暮らしの中で積み重ねてきた体験と大人との会話や絵本などから得た知識を組み合わせ、豊かな想像の世界を展開します。一見、科学的でなく論理的でもないのですが、この時期は「正解」を学ぶよりも子どもたちの想像の世界を広げていく選択肢をお勧めします。子育てがとても楽しくなるからです。サポートの中で、提供会員さんが子どもと想像力を膨らませる会話の展開を楽しむ場面に遭遇することがよくあります。あまり時間に追われていないからこそできる「子ども支援」だと思います。担当：M



# 2021年度 第一回 理事会として総会 報告 (2021年6月4日開催)



3年後のファミサポプロポーザルをどうするか、家事サポートの展開の方向性、世代交代など、この1年間の動きが未来の方向を定める重要な時です。小さな組織であり、かつ働き者である強みを活かし、時代を読み、フレキシブルに判断していきます。

## 役員（理事）の退任と就任

田中美貴さん 理事任期満了で退任

川上 亮さん 理事に新任

田中さんは今後は自団体の活動に専念されます。退任後も協力や連携をお約束されました。感謝。川上さんは40代、社会貢献への指名感を持っての就任です。ともに活動展開を創り出せたらと思います。

## 産前産後ケア・家事サポートの今後の展開

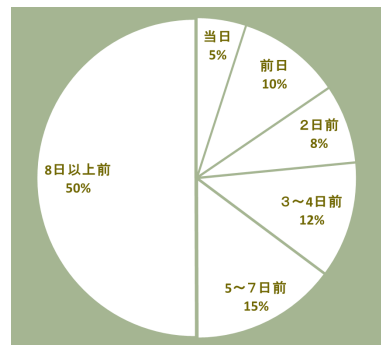
育児等サービス事業（行政委託）は1年で終了予定、当法人としては自主事業の家事サポートの展開拡大を目指します。今年度、他自治体での展開ができないカリサーチを開始します。女性や主婦としての強みを活かした地域貢献のカタチ作りと仕事創りを目指します。

## ファミサポ事業のこれから ここ2年…仕事の負担感が増しました°(°´Д`°)

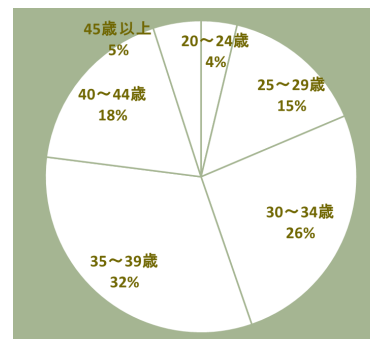
原因のひとつは、利用件数が増加したことです。2020年度の利用件数は2014年度の3倍です。ここ3年では1.5倍の件数となり増加率も高いです。反面、予算は微増減を行ったり来たりです。コロナ禍で利用者側が集団を避ける傾向から、個別性が高い依頼会員宅での利用が全体の50%です。気を使う支援です。現場は直前の利用申し込みの増加にも右往左往。昨年度は約1/4が直前から2日前の申し込みでした。断ることもできるのですが、母親の体調不良や家族の急な問題など困り果ててのご相談がほとんどで、提供会員さんに無理して対応していただいたことも少なくありません。

利用者の年齢も変化しています。35歳～40歳代の利用が多いのは相変わらずですが、20代特に前半の方の利用が増えています。この世代は就労のための準備（資格取得）や就職面接、復職時の慣らし保育期間の利用などで早朝から長時間の希望もあります。祖父母世代は働く世代で頼ることは困難です。またごく小さい乳児の頃からの利用もあり、見守りの環境調整にも配慮が必要です。コロナ禍、お力になれて本当にうれしい反面、負担感も増加し続けています。事業のあり方、ルールについての検討など行い、リスク検証もした上で、3年後の受託をどうするか、2年後までには結論を出していく所存です。子育て支援に関心あるみなさんからのご意見もお聞きしたいと思っていますので、ご意見お寄せください。

### ①依頼から利用までの日数



### グラフ2：利用者の年齢



## ● これからのイベントや講座の予定 ●

イベント名	日時	会場	内容
おもちゃ整理の日	6月15日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃ遊びは10:30からOK
ぼちぼちヨガ教室	6月21日(月) 14:00~15:00	ボランティアセンター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
家事サポート研修会	6月16日(水)	みんなの実家 モンブレア	調理実習(試食)と交流 参加費¥500
子育て支援者リスクマネジメント研修	6月19日(土) 10:00~12:00	山澄地区公民館	弁護士を招いてのリスク研修・参加費¥1,000

## ● 感謝録 ● 【2021年1月~3月末日】

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。ご寄付は産後うつや虐待防止のための産前産後家事サポートおよび相談事業、出張両親学級事業に活用させていただきます。

(※敬称は略させていただきます)

品川知通子・大賀幸子・槌田禎子・相川加津美・徳田愛子・吉武祥子・花城暢一 川原ゆかり・(医)TOG築山尚史・石田舞子・池田左有里・松田容子・柿田多佳子・三宅正吾・岩永厚子・岩本聡美・西原博樹・出崎睿子・山崎 翠・守永 恵・匿名の方

### 【2021年4月~】 (寄付金の他おもちゃなど寄贈)

森山裕美・荒牧知里・徳永寛子・近藤さよ子・川下昭子

### 編集後記 はお休みします

NPO法人ちいきのなかまの事業報告書・決算書は法人HPに掲載しております。関心ある方は、ぜひご覧いただければと思います。

### NPO法人ちいきのなかま



入会・会員(正・賛助) 会員継続のご案内  
 正会員: 総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費 ¥6,000  
 賛助会員: 総会議決権なし 年会費¥3,000  
 主な特典: 各種事業会員特別料金にてご優待  
 連絡先 NPO法人ちいきのなかま

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19

携帯 090-9498-3608

E-mail: [chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp](mailto:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp)

HP: <http://chiikinonakama.boj.jp/>